



冬ごもり明けの
クマに注意！

春のクマ注意報！

今年は、クマが早くから動き出します。

春は、クマが冬ごもりから目覚め食べ物を探して動きます。特に今年は暖冬で、いつもより早い時期から行動することが予想されます。

親子クマに注意を。

雌グマは、冬の間に出産した子グマを1～2頭連れている可能性があり、子グマを守るために、神経質になっています。

山菜採りは周囲の確認をしながら。

春、クマは草や木の芽を好んで食べることから、山菜採りに出でかけ遭遇する可能性があります。山菜取りに熱中するあまり周辺への注意力が散漫になること、また、ラジオや鈴の音がこもってしまう場合があることからこれらを過信せずに、複数で行動するとともに周囲に十分気をつけましょう。

クマと遭遇しないよう下記のことにご注意してください。

朝夕の行動は避ける

明け方と夕方はクマの活動が活発です。この時間帯は、山中に入らないようにしましょう。また、出来るだけ単独での行動はやめ、複数で声を掛け合いながら行動しましょう。

周囲の確認をする

山菜はクマの好物です。山菜のある場所には、クマもいる可能性があります。また、溪流釣りなどの場合は水の音で、クマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがあります。山中では周囲に十分気をつけましょう。

クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地です。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

笛、ラジオ、鈴の携帯を

人の気配を感じたらクマは自ら避けてとおります。人の存在を知らせるために、笛、ラジオ、鈴など音の出る物を携帯するようにしましょう。

子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。

犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとします。しかし、犬が一緒の場合には、犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。